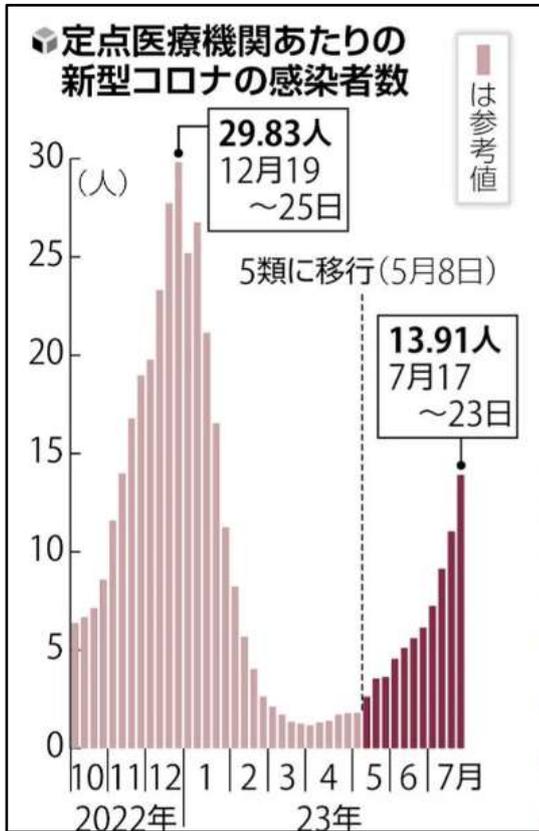


コロナ追加接種は9月20日開始、「XBB」対応で全世代対象…厚労省方針

8/6 読売新聞

新型コロナウイルスワクチンについて、厚生労働省は、全世代を対象に実施する追加接種を9月20日に始める方針を決めた。オミクロン株の新系統「XBB・1・5」に対応した新しいワクチンが使われる予定だ。厚労省が各都道府県や市町村などに開始日を周知した



XBB対応ワクチンは、国内外で感染が広がるXBB系統に合わせて開発され、米ファイザーと米モデルナが7月、厚労省にそれぞれ承認申請した。今後、厚労省の専門家部会が承認の可否を議論する。予定通り接種を開始するには、薬事承認が前提となる。

9月からの追加接種は、年末年始に予想される感染拡大に備えることなどが目的で、全世代が対象になる。今年度内は無料で接種を受けられる。

ただ、重症化率の低下などを踏まえ、現時点で、健康な人には「接種勧奨」や「努力義務」を適用しない方針だ。高齢者や持病のある人など重症化リスクの高い人らを対象に現在行っている、「BA・5」などのオミクロン株対応ワクチンの追加接種は、9月19日に終了する。一方、ファイザー製のオミクロン株対応ワクチンは今月7日から、5～11歳の小児と12歳以上の人を対象に初回から受けられるようにす

純国産コロナワクチン第1号、第一三共は供給しない方針初期流行株用で使用見通しなく
2023/08/01 読売新聞



第一三共は1日、厚生労働省の専門家部会で製造販売の承認が了承された新型コロナウイルスワクチンについて、正式承認後も供給しない方針を明らかにした。初期に流行した従来株に対応したもので、国内で使用される見通しがなかったためだ。開発ノウハウを生かし、変異株オミクロン株の「XBB」系統に対応した新たなワクチンの実用化を加速させる。

同社のワクチンは、遺伝物質「メッセンジャーRNA (mRNA)」を使ったタイプだ。7月31日の専門家部会で了承されたことを受け、厚労省が近く正式承認する。承認されれば国内企業が開発した初の「純国産ワクチン」となる。

厚労省は9月以降の追加接種で、XBB対応ワクチンを使う方針。このため、第一三共はXBB対応の開発を急ぎ、改めて承認を得た上で、ワクチン供給を実現したい考えだ。